

仙台市議会だより

sendai city assembly

第172号
平成28年

第1回定例会号

http://www.gikai.city.sendai.jp/
2016年(平成28年)5月発行

発行 仙台市議会
編集 仙台市議会広報委員会
TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行



本会議を体験している様子



常任委員会を体験している様子

子ども議会による

七北田小学校6年生129名の児童による「子ども議会（議会体験プログラム）」を1月12日に開催しました。

子ども議会では、実際の会議に使用している議場等で議員等の役を演じながら議会の仕組みを学ぶことができます。

仙台市議会では、体験していただく児童・生徒の団体を随時募集しています。

※詳細については、3面をご覧ください。

平成28年度当初予算を含む102件の議案等を可決

3/14	3/10	3/7	3/3	2/25 ~3/10	2/24	2/19 ・22・23	2/17 ・18	2/10
本会議	常任委員会	本会議	常任委員会	本会議 特別委員会	常任委員会	本会議	本会議 委員会	本会議 委員会
・ 議案の採決 ・ 意見書、決議の採決 ・ ほか	・ 請願の審査 ・ 総務財政委員会 ・ ほか	・ 追加議案に対する質疑 ・ 1人	・ 報告 ・ 総務財政委員会 ・ 追加議案の説明	・ 予算等議案の審査	・ 予算等議案以外の審査	・ 一般質問21人	・ 代表質疑5人	・ 人事案件 ・ 議案の提案理由説明 ・ 決議の採決 ・ 報告 ・ (市民教育委員会)

平成28年第1回定例会期日程

市民のみなさまへ

第1回定例会には、平成28年度予算案や条例案など、107件の議案等が提出されました。

代表質疑では、5年間の震災復興計画期間の総括や計画期間終了後における復興の取り組み、市民利用施設の使用料の見直し、障害のある方への差別解消に関する条例などについて、活発な質疑が展開されました。

一般質問では、観光や文化の振興、地下鉄東西線開業後の市民の足の確保など、市政のさまざまな課題について質問がなされました。

また、平成28年度予算案などを審査するため、予算等審査特別委員会を設置し、11日間にわたって質疑が行われました。

した。

この他に、北朝鮮が実施した水爆実験やミサイル発射に断固として抗議する決議を初日に、5月に開催されるG7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議に際して本市を訪れる方々に感謝と歓迎の意を表する決議を最終日に、いずれも全会一致で可決しました。

また、「女性の健康の包括的支援に関する法律(仮称)」の成立を求める件など、2件の意見書を可決しました。

震災復興計画期間は終了しましたが、本市議会は、これからも復興に向けた取り組みの継続を注視していくとともに、このまちの未来を見据え、真剣に議論を重ねてまいります。

仙台市議会
議長 岡部 恒司
副議長 安孫子 雅浩

定例会の流れ

本会議	委員会	本会議
開会 議長 岡部 恒司	常任委員会(5委員会) 特別委員会	開会 議長 岡部 恒司
提案説明 代表質疑 一般質問 委員会付託	各委員が所管する議案について審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。	議長 岡部 恒司 副議長 安孫子 雅浩
議案の採決 意見書、決議の採決 ほか	議員全員で構成し、一問一答方式によって詳しく予算等について審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。	議案の採決 意見書、決議の採決 ほか

目次

市民のみなさまへ	1面
定例会会期日程	1面
定例会の流れ	1面
主な議案の紹介	2面
意見書・決議	2面
代表質疑	2・3面
子ども議会のご案内	3面
常任委員会審議の概要	4面
一般質問	4・5面
用語解説	5面
予算等審査特別委員会 会派別議案等賛否一覧表 会派別所属議員 傍聴のご案内 次回定例会のお知らせ 編集後記	6・7面 8面

主な議案の紹介

今定例会に提出された議案等107件のうち102件が可決され、成立しました(8面の賛否一覧表をご参照ください)。以下、成立した議案の一部を紹介いたします。
 なお、予算等の審査については、6・7面をご覧ください。

**平成27年度補正予算
〇一般会計(主な補正項目)**

- ・東部市街地排水施設整備事業の組合負担金10億5,277万4千円を積み立てるもの
- ・国の平成27年度第1号補正による地方創生加速化交付金を活用し、中心部商店街活性化促進のため必要な経費8,390万円を追加するもの

〇特別会計(主な補正項目)

- ・一般被保険者療養給付費が当初見込み額を上回ることから、必要な経費2億円を追加するもの

〇障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例

障害を理由とする差別の解消に關し、基本理念、市、事業者および市民の責務、市が実施する基本的な施策等を定めることとし、仙台市障害者差別相談調整委員会を設置するもの

〇各種使用料及び手数料の改定等に関する条例

受益者負担の適正化の観点から、各種使用料および手数料を改定する等のもの

〇事務分掌条例の一部を改正する条例

市民局の事務のうち国際交流に

關する事項ならびに文化およびスポーツの振興に関する事項ならびに経済局の事務のうち観光に関する事項を分掌させるため文化観光局を設置するものとし、復興事業局を廃止する等のもの

〇市長等の給与に関する条例等の一部を改正する条例

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間における市長等の給料月額を減額することとし、市長および副市長の地域手当の支給割合の特例を定める等のもの

〇職員給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事委員会の市議会および市長に対する職員の給与等に關する報告および勧告ならびに關する他の地方公共団体の職員の給与の改定措置等を考慮し職員の給料および勤動手当の支給割合

を改定するとともに、「地方公務員法」の改正に伴い等級別基準職務表を定める等のもの

〇敬老乗車証条例の一部を改正する条例

敬老乗車証のICカード化に關し必要な事項を定めるとともに、平成23年東北地方太平洋沖地震の被災者に係る負担額に関する特例を廃止する等のもの

〇市営住宅条例の一部を改正する条例

仙台駅東市営住宅に復興のための市営住宅の部分に加えて一般の市営住宅の部分も設けるもの

人事

〇副市長の選任

藤本 章

〇定資産評価審査委員会の委員の選任

永山 勝教、高橋 直子、千葉 芳信、石田 良子

〇土地利用審査会の委員の任命

内田 美穂、菅野 育男、佐々木 真理、内藤 千香子、平野 勝也

〇宮城県公安委員会の委員の推薦

相澤 博彦

〇人権擁護委員候補者の推薦

竹内 久子、竹川 訓由、酒井 恵、佐々木 好志、繁野 みどり、田代 ひとみ、高森 勝治

〇人事委員会の委員の選任

高橋 裕

議員提出議案

議第3号 政務活動費の交付に關する条例の一部を改正する条例

政務活動費に係る収支報告書等の提出期限に關し、所要の規定整備を行うもの

議第4号 市議会委員会条例の一部を改正する条例

常任委員会の所管を改めるもの

意見書

第1号 「女性の健康の包括的支援に関する法律(仮称)」の成立を求める件

女性の健康支援対策の総合的かつ計画的な推進を求めるもの

第2号 「青少年健全育成基本法」の制定を求める件

青少年健全育成に關する施策を推進するための法整備を求めるもの

可決した意見書は、国会および関係行政庁に提出しました。

決 議

第1号 北朝鮮の核実験及びミサイル発射に対する抗議に関する件

北朝鮮の暴挙に抗議し、日本政府に対して毅然とした措置を講じよう求めるもの

第2号 G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議の開催に關する件

万全の態勢で会議に臨み、訪れる方々に歓迎の意を表するもの

自由民主党

赤間 次彦 議員

問 震災復興と未来へつなぐ 仙台区の街づくり

答 震災から丸5年を迎える。これまでの復旧・復興の総括と未来に向けた街づくりについて伺う。

問 被災された方々と対話を積み重ね、住まいの再建を最優先として早期の復興に取り組んできた。東部地域の農業の六次産業化や起業の活性化等、震災を契機として新たな可能性が広がっており、震

問 災で得た経験を今後の仙台区のまちづくりの力として、市民の皆さまと共に進んでまいりたい。

答 地域の実情に応じた街づくりを進めるため区役所の役割は重要だ。機能強化の取り組みを伺う。

問 きめ細かな地域づくりを進めるため地域への支援体制の強化や町内会をはじめとする地域団体との協働・連携の充実を図り、サービスの拠点である区役所・総合支所の機能強化に努めたい。

音楽ホール整備の早期実現を

問 音楽ホール整備の機運と期待が高まっているが、基礎調査の成果を伺う。

答 国内のホール系施設の立地特性や課題等、基礎的な項目の調査を行っている。今後、専門家等の意見を伺い、「案部仙白」の拠点としての機能と規模等について検討を深めたい。

その他の主な質疑項目

- 職員の意識改革と組織づくり
- ガス事業の民営化
- 市役所本庁舎の建て替えの検討

市民フォーラム台

村上 かずひこ 議員

問 本市中学生が自死に至った 事例について

答 本年2月、本市中学生が自死に至った悲しく残念な事案があった。教育局は命の尊さを考えさせる指導の徹底を指示したが、自死を防ぐためには、教師側からの一方的な指導ではなく、自死に対する生徒自身の考えを引き出すことが必要だ。アクティブ・ラーニングを活用した教育プログラムを早急に組むべきと考えるが、見解を伺う。

答 自死の問題を見つめて命の尊さについて考えを深めたり、議論を通して自己の生き方について考えを広げたりするなど、アクティブ・ラーニングの視点も取り入れ、子どもたちの自己肯定感・入用感を育む授業や活動に取り組みよう各学校を指導する。

定禅寺通を活用した 国家戦略特区内部事業の可能性

問 民間主体に道路等の公共空間を開放しまちのにぎわい創出を図る特区内部事業に關し、定禅寺通北側2車線を車両通行止めとし、市民広場から西公園までをカフェテリア等に開放して一体的に活用を進める案について可能性と所見を伺う。

答 関係機関や地域の方との十分な調整が必要だが、定禅寺通に

はさらなる活用の可能性があると考えている。引き続き、まちの魅力向上に向け、民間による道路空間の活用促進に取り組みたい。

その他の主な質疑項目

- 防災環境都市としての電源安定確保を含めた本市電力調達の在り方
- 係長職昇任試験の存在意義
- 職員の出退勤管理に關するタイムカード導入と雇用形態の在り方
- 北海道新幹線開通後の経済戦略

定禅寺ストリートジャズフェスティバルで 歩行者天国となりにぎわう定禅寺通

代表質疑

公明党

菊地 昭一 議員

問 震災復興計画期間終了後も 継続した復興の取り組みを

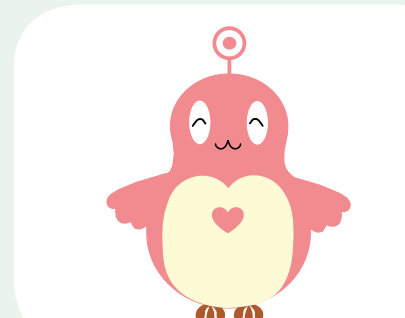
答 震災復興計画期間終了後も、引き続き震災から5年を迎え、防災集団移転等の基幹事業はおおむね終了したが、いまだ4206世帯の方が仮設住宅に住んでいる。一人一人が生活再建、心の復興ができるまで復興の取り組みの継続を求める。

問 今回の使用料の改定は、市民利用施設全般に及んでいる。利用される市民の方々に、見直しに至った経過や改定内容等について丁寧の説明を求めたい。

答 施設ごとの新旧対照表および改定の経緯や考え方をホームページで公開している。今後、市政だよりで改定の概要をお知らせするほか、ホームページで施設ごとの改定内容を分かりやすく掲載したい。さらに施設における周知など、より丁寧な対応に努めたい。

その他の主な質疑項目

- 市民の足の確保に向けた、今後の地域公共交通の在り方について
- 人口減少を見据え、長期的な街づくりを視野に入れた施策を
- 集団移転跡地の利活用について
- 市民が障がい者の差別解消に関する条例の趣旨を理解することが大切であり、周知広報の徹底を
- 保護者と子どもが共に「命の尊さ」を学べる機会を作るべき



仙台市障害理解促進キャラクター「ココロン」

社民党

相沢 和紀 議員

問 28年度予算における市税収入が27年度より伸びており、特に固定資産税のうち家屋に課される税金が大きいためと考えるが、今後の市税の推移についての分析を伺う。

答 今後とも堅調に推移すると見込むが、景況の状況等により変動する可能性もあり、樂觀せずには

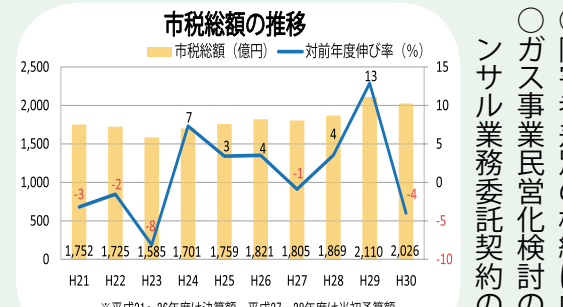
問 災害危険区域内の集団移転跡地の活用について、意見やアイデアの募集を開始した。復興計画では東部沿岸地域を「農と食のフロントシアター」と位置付けていたが、募集する際に紹介された事例は農と食を飛び越え、何でもありともれる募集内容である。本市における位置付けや条件を明確にし、具体的な提案につなげるべき

答 行政側が立案し、市民意見を伺いながら施設整備を行う従来型の進め方ではない、民間の自由な発想を生かし主体的に跡地を使っていたことを目指している。

業集の前にさまざまな条件を詰めた上で、28年度内の方針をあらためて取りまとめた。

その他の主な質疑項目

- 「孤独」を深めるママたちへの支援策の拡充と具体策の提案
- 公共施設の長寿化対策と財源
- 都市公園への保育所整備の課題
- 障害者差別の根絶に向けた啓発
- ガス事業民営化検討のためのコンサル業務委託契約の在り方



日本共産党

花木 則彰 議員

問 被災者に対する医療費・介護利用料免除の継続を

答 被災者に対する国保と介護の一部負担金免除について、他自治体が継続を次々と決断する中、財政力のある仙台市が真っ先に打ち切ること許されない。命を守ることを優先される事業はない。制度を継続し、国に財源を求めよ。

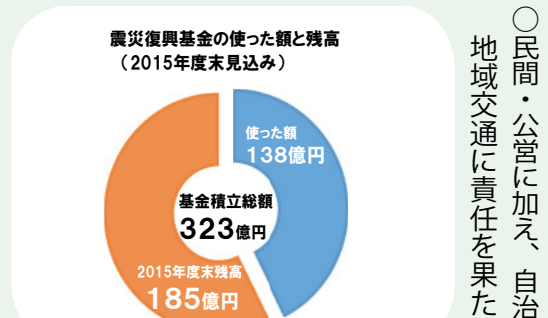
問 210の市民利用施設の使用料等値上げについては、まず市長が直接市民に説明し意見を聴くべきだ。多くの施設は市民の学びの場や文化風土に関わるものであり、財政的な理由で値上げすべきではない。議案を撤回し、あらためて文化スポーツ等について市民と語り合っていくべき

答 本市では、30年以上使用料の見直しを行っておらず、受益と負担の適正化の観点から見直しは必要と認識している。見直しに当たっては、パブリックコメントで

問 いただいたご意見を踏まえ、引き上げ幅に上限を設ける等利用者の負担増に配慮した。引き続き、市民の皆さまに丁寧にご説明したい。

その他の主な質疑項目

- 住まいの再建の見直しを持ってない世帯が多くあり事業完了には程遠い。支援策の拡充と復興計画の延長を、復興事業局を存続せよ。
- 民間・公営に加え、自治体が直接地域交通に責任を果たす形態を



子ども議会(議会体験プログラム)

仙台市議会では、小学校5年生から高校3年生までの団体を対象に「子ども議会(議会体験プログラム)」を実施しています。児童・生徒が議員や市の職員役になり、学校建設等のシナリオを演じながら議会の仕組みを学ぶことができます。

◆定員 10〜60人程度(60名を超える場合は要相談)

◆日程 ※議長・委員長・委員などセリフのある役は、15人程度 本会議・常任委員会などの開催日、年末年始、祝日などを除く平日に実施

◆お申し込みの際に調整させていただきます

◆所要時間 1時間〜1時間20分程度

◆参加費 不要

◆※往復の交通については、参加者側での手配・負担をお願いいたします。

～当日の流れ～

- 議会の仕組みを説明
「議会の仕組み・役割」などを分かりやすく説明します。
- 常任委員会を体験
委員会室で、議案の提案理由の説明、審査、討論、採決を体験します。
- 本会議を体験
議事堂3階の本会議場へ移動して、常任委員会の委員長報告、討論、採決を体験します。
- 議員への質問タイム
本会議の終了後に、市議会議員への質問タイムを設けています。皆さまの質問に、議員が丁寧にお答えします。

皆さまのご参加をお待ちしております。

<お申し込み・お問い合わせ>
 仙台市議会事務局調査課 電話: 022-214-6169 F A X : 022-265-9626
 Eメールアドレス: gik024530@city.sendai.jp

一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。21名の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

自由民主党

松本 由男 議員

○ 予算編成過程を公開し、市民も参画したまちづくりを推進すべき。

○ 政策への市民意見の反映手法は、各分野の計画の立案過程でのパブリックコメント等が基本と考えている。今後、他都市の取り組みも参考に、対応策の検討を進めたい。

○ 市民協働による歴史文化遺産保全とまちづくりへの活用。追廻地区は片倉小十郎屋敷跡地に着目した公園整備。高橋 卓誠 議員。観光客誘致に向けた戦略として、国際会議や展示会等の開催に、財源確保の手法を模索し、安定した中長期的なDMOを構築すべき。

○ 仙台観光国際協会を設置し、国際交流施設等を一体的に展開する体制を整備した。今後、他都市の事例を参考にDMO形成やBIDのような財源確保の在り方を検討する。

○ 秋保の伝統芸能披露。世界に和食の魅力発信を。妊婦健康診査の助成制度。外国人観光客の誘致に向けた観光振興施策について。わたなべ 拓 議員。文化観光局新設に際し、外国人観光客誘致を図るためのDMOの役割を伺う。

○ 各地の観光資源や文化等と有機的に連携し、戦略的に東北への誘客をけん引する。○ 欧米豪からの観光客誘致策。○ 本市を舞台としたアニメ・文学を活用した観光振興を。佐々木 心 議員。18歳選挙権に係る学校での主権者教育について伺う。

○ 新たな防災対策の発信。加藤 和彦 議員。教職員の役割が多様化・複雑化している。論理性を持ち、正しい判断ができるよう資質向上を図るべき。

一般質問

公明党

佐藤 和子 議員

○ 28年度に妊産婦福祉避難所をうり指定する準備を進めているが、さらに拡充すべき。

○ 看護学科を擁する大学等にも順次、協定締結の要請を行い、拡充に取り組みたい。

○ 動物を介在した授業による命を大切にする教育の推進。○ トレイルランコースの復活。○ 小企業活性化や起業の促進に努め、持続的な発展に尽力する。

○ 復興需要減少後の建築需要喚起策としてリフォーム助成を。○ 正規雇用化助成と奨学金返還支援を実施し、地元中小企業への若者の定着を支援せよ。

日本共産党

庄司 あかり 議員

○ 労働者による経済の好循環は生まれない。内需の拡大をどのように進めるのか伺う。

○ 交流人口拡大と併せ、中小企業活性化や起業の促進に努め、持続的な発展に尽力する。

○ 2月に公表された予算に係る財政見直しでは、28年度から3年間の合計は昨年公表時に比べ、扶助費が52億円減で普通建設事業費が41.7億円増だ。財源不足を社会保障費のせいにするべきでないのでは。

○ 復興関連事業費の精査や各公共施設の改修費計上が普通建設事業費増の理由であるが、社会保障関係費も収支差拡大の大きな要因の一つである。○ 科学館へのPFI導入中止を。小野寺 利裕 議員。地方創生の実現には、地方の魅力を引き出し活性化に向けてけん引する人材が必須である。

鳴川 貴志 議員

○ 復興事業局の廃止後は市民が分かりやすい体制の構築が必要だが、取り組みを伺う。被災者の相談窓口が明

維新の党

伊藤 ゆづた 議員

○ 小学校入学時に奨励される防災頭巾の購入に賛同し、子どもたちの命を守る観点から、日本防災協会の認定品や、他都市で実例がある折り畳み式防災ヘルメットについて

○ 復旧関連事業費の精査や各公共施設の改修費計上が普通建設事業費増の理由であるが、社会保障関係費も収支差拡大の大きな要因の一つである。○ 科学館へのPFI導入中止を。○ 地域ネットワーク会議の様子 (燕沢地域包括支援センター)

○ 復興関連事業費の精査や各公共施設の改修費計上が普通建設事業費増の理由であるが、社会保障関係費も収支差拡大の大きな要因の一つである。○ 科学館へのPFI導入中止を。○ 地域ネットワーク会議の様子 (燕沢地域包括支援センター)

市ゆかりのアニメの活用を。平井 みどり 議員。保管枚数等を一般でぐみと混ぜて焼却・埋め立てして

○ 放射性廃棄物による汚染対策は、国の基準に甘んじず本市が自ら模索し決定すべき

○ 災害時要援護者情報登録者数増に向けた対策と不要なりストの確実な廃棄を求める

○ 青葉山テニスコートの存続

○ イクスカポインント率の事業者間格差是正と失効防止対策

○ 本市地球温暖化対策推進計画に関する諸課題

○ 職員が市長の指示だけで進むことは、指示がない間は状況が停滞し、指示以上のスピードで変革することはない

○ 市長は多くの職員とミーティングを持ち、多くの現場に足を運んでいただきたい。

○ 職員は機動性を持ち非生産的な仕事はやめ思い切った挑戦

○ 職員の超過勤務や過重労働を削減するための改善策

○ 空き家の利活用の早期実現

○ 市民の足の確保のため、行政の責務等を盛り込んだ交通基本条例を制定すべきだが伺う。

○ 策定中の新たな都市交通政策の中で地域や行政の役割連携の在り方を検討している。

○ 地方交付税の拡充等、地方財源の確保を国に求めるべき

○ 地域支援事業における地域諸団体の役割と課題

○ 訪問看護サービスの拡充

○ 介護予防に栄養指導の視点を

○ 東西線とバスの乗り継ぎ問題

○ 観光客誘致に向けた取り組み

○ 地域支援事業における地域諸団体の役割と課題

○ 訪問看護サービスの拡充

○ 介護予防に栄養指導の視点を

○ 東西線とバスの乗り継ぎ問題

○ 観光客誘致に向けた取り組み

○ 地域支援事業における地域諸団体の役割と課題

○ 訪問看護サービスの拡充

○ 介護予防に栄養指導の視点を

○ 東西線とバスの乗り継ぎ問題

○ 観光客誘致に向けた取り組み

○ 地域支援事業における地域諸団体の役割と課題

○ 訪問看護サービスの拡充

○ 介護予防に栄養指導の視点を

○ 東西線とバスの乗り継ぎ問題

○ 観光客誘致に向けた取り組み

○ 地域支援事業における地域諸団体の役割と課題

○ 訪問看護サービスの拡充

○ 介護予防に栄養指導の視点を

○ 東西線とバスの乗り継ぎ問題

○ 観光客誘致に向けた取り組み

○ 地域支援事業における地域諸団体の役割と課題

○ 訪問看護サービスの拡充

○ 介護予防に栄養指導の視点を

○ 東西線とバスの乗り継ぎ問題

○ 観光客誘致に向けた取り組み

○ 地域支援事業における地域諸団体の役割と課題

○ 訪問看護サービスの拡充

○ 介護予防に栄養指導の視点を

○ 東西線とバスの乗り継ぎ問題

○ 観光客誘致に向けた取り組み

○ 地域支援事業における地域諸団体の役割と課題

○ 訪問看護サービスの拡充

○ 介護予防に栄養指導の視点を

○ 東西線とバスの乗り継ぎ問題

○ 観光客誘致に向けた取り組み

○ 地域支援事業における地域諸団体の役割と課題

○ 訪問看護サービスの拡充

○ 介護予防に栄養指導の視点を

○ 東西線とバスの乗り継ぎ問題

○ 観光客誘致に向けた取り組み

○ 地域支援事業における地域諸団体の役割と課題

健康福祉委員会。健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管。付託された議案等の番号 (第34・54・58・60・77・79・92号)

総務財政委員会。総務局、まちづくり政策局、復興事業局、財務局、消防局、その他を所管。付託された議案等の番号 (第2・3号議案)

健康福祉委員会。健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管。付託された議案等の番号 (第34・54・58・60・77・79・92号)

経済環境委員会。環境局・経済局・農業委員会・ガス局を所管。付託された議案等の番号 (第31・69・80・81号・第1号請願)

都市整備建設委員会。都市整備局・建設局・水道局・交通局を所管。付託された議案等の番号 (第61・66・70・71・73・74・85号)

市民教育委員会。市民局・教育委員会を所管。付託された議案等の番号 (第52・53・72・75・76・82・84号・議案第1号)

総務財政委員会。総務局、まちづくり政策局、復興事業局、財務局、消防局、その他を所管。付託された議案等の番号 (第2・3号議案)

健康福祉委員会。健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管。付託された議案等の番号 (第34・54・58・60・77・79・92号)

経済環境委員会。環境局・経済局・農業委員会・ガス局を所管。付託された議案等の番号 (第31・69・80・81号・第1号請願)

都市整備建設委員会。都市整備局・建設局・水道局・交通局を所管。付託された議案等の番号 (第61・66・70・71・73・74・85号)

市民教育委員会。市民局・教育委員会を所管。付託された議案等の番号 (第52・53・72・75・76・82・84号・議案第1号)

総務財政委員会。総務局、まちづくり政策局、復興事業局、財務局、消防局、その他を所管。付託された議案等の番号 (第2・3号議案)

健康福祉委員会。健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管。付託された議案等の番号 (第34・54・58・60・77・79・92号)

経済環境委員会。環境局・経済局・農業委員会・ガス局を所管。付託された議案等の番号 (第31・69・80・81号・第1号請願)

都市整備建設委員会。都市整備局・建設局・水道局・交通局を所管。付託された議案等の番号 (第61・66・70・71・73・74・85号)

市民教育委員会。市民局・教育委員会を所管。付託された議案等の番号 (第52・53・72・75・76・82・84号・議案第1号)

総務財政委員会。総務局、まちづくり政策局、復興事業局、財務局、消防局、その他を所管。付託された議案等の番号 (第2・3号議案)

健康福祉委員会。健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管。付託された議案等の番号 (第34・54・58・60・77・79・92号)

経済環境委員会。環境局・経済局・農業委員会・ガス局を所管。付託された議案等の番号 (第31・69・80・81号・第1号請願)

都市整備建設委員会。都市整備局・建設局・水道局・交通局を所管。付託された議案等の番号 (第61・66・70・71・73・74・85号)

市民教育委員会。市民局・教育委員会を所管。付託された議案等の番号 (第52・53・72・75・76・82・84号・議案第1号)

総務財政委員会。総務局、まちづくり政策局、復興事業局、財務局、消防局、その他を所管。付託された議案等の番号 (第2・3号議案)

健康福祉委員会。健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管。付託された議案等の番号 (第34・54・58・60・77・79・92号)

経済環境委員会。環境局・経済局・農業委員会・ガス局を所管。付託された議案等の番号 (第31・69・80・81号・第1号請願)

都市整備建設委員会。都市整備局・建設局・水道局・交通局を所管。付託された議案等の番号 (第61・66・70・71・73・74・85号)

市民教育委員会。市民局・教育委員会を所管。付託された議案等の番号 (第52・53・72・75・76・82・84号・議案第1号)

総務財政委員会。総務局、まちづくり政策局、復興事業局、財務局、消防局、その他を所管。付託された議案等の番号 (第2・3号議案)

健康福祉委員会。健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管。付託された議案等の番号 (第34・54・58・60・77・79・92号)

経済環境委員会。環境局・経済局・農業委員会・ガス局を所管。付託された議案等の番号 (第31・69・80・81号・第1号請願)

都市整備建設委員会。都市整備局・建設局・水道局・交通局を所管。付託された議案等の番号 (第61・66・70・71・73・74・85号)

市民教育委員会。市民局・教育委員会を所管。付託された議案等の番号 (第52・53・72・75・76・82・84号・議案第1号)

総務財政委員会。総務局、まちづくり政策局、復興事業局、財務局、消防局、その他を所管。付託された議案等の番号 (第2・3号議案)

健康福祉委員会。健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管。付託された議案等の番号 (第34・54・58・60・77・79・92号)

予算等審査 特別委員会

委員長 村上 かずひこ
副委員長 小田島 久美子

本委員会は、全議員55名で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・費目ごとに一問一答形式で質疑を行います。

委員会は、2月25日から11日間開催され、延べ89名の委員が約37時間にわたり審査を行いました。

主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

自由民主党

高橋 卓誠 委員
図書館等 社会教育施設の休館日の改善について伺う。
答 休館日変更等は諸課題がある。利用しやすい施設を目指すため検討したい。

○白老町との交流促進を
○子どもの貧困対策について
佐々木 心 委員
仙台国際ハーブマランのコース見直しについて伺う。
答 次期コース認定申請に併せ、周辺状況の変化等の要因を検証し必要性を検討する。

○地域の実情に応じた市民センターの備品配備を
わたなべ 拓 委員
○広瀬通渋滞対策工事に伴うイチョウ伐採は停止し移植について民意の醸成を待つべき

○震災により体内を亡くした世帯に葛岡園再買出優先枠を
○防災教育副読本を台湾の支援や自衛隊の海外支援記載を
菅原 正和 委員
WETUBEでの情報発信
○まちづくり活動助成事業と協働まちづくり推進助成事業
○せんだい・アート・ノード・プロジェクトの効果

○市民協働の推進につながる
○市民協働の推進につながる
○子ども・若者参画型事業
松本 由男 委員
市民協働の推進につながる

問 本市の危機管理の在り方について市長の所信を伺う。
答 関係機関と連携を図り、危機の予兆を適切に把握し、

公明党

会計・費目別の主な質疑項目〔市民費〕
問 本市にはレクリエーション用プールはあるが公認プールはない。早急に整備すべき。
答 28年度のスポーツ推進計画中間見直しの中で整理したい。

○シルバースターのプールの使用料の改定について
○市体育館の臨時駐車場用地の買取りを進めるべき
○歩行喫煙等防止条例の周知
○自転車レーン逆走禁止を徹底し、周知標識等の拡充を
○自転車レーンの理解促進と交通安全教室の推進を
〔健康福祉費〕

問 子育て世代包括支援センターでは当事者目線での支援を、利用者視点の視点を持つて、個々のニーズに応じた支援を行う。
○妊産婦福祉避難所の周知を
○せんだい保育室からの移行
○小規模保育事業における増員保育士への独自運用を
○保育士配置基準の特例運用
○保育士の処遇改善について
○猫の殺処分ゼロへの取り組み
○地域猫支援活動の普及啓発
〔環境費〕

問 怒熱工事の効果は。
答 一般家庭の工事1件あたり年間最大約0.5トンのCO2削減が見込まれる。

〔経済費〕
○集団移転跡地の利活用の検討にも大きな影響を与える
○深沼海水浴場の再開の可否は速やかに市民に広報すべき
○農業園芸センター整備の際に白鳥や水鳥が舞う大沼も回遊できるように検討すべき
○企業の積極的な情報開示により若者の雇用促進を

日本共産党

ふなやま 由美 委員
○国民健康保険の一部負担金減額や支払い免除の対象拡大を
○全国の一般会計から市町村国保への繰入金総額の4割は国保引き下げ等、政策的な経費の充当。本市も繰入金を充てて被災者への一部負担金免除を継続すべき。

高見のり子 委員
○沿岸部は放火事件が相次いでいるため夜間の防犯対策を
○集団移転跡地利用は、被災者や元地権者の意見を聞き
○事業決定等に反映すべき
○県の大堤防建設と市の区画整理事業で消滅の危機にひんする浦生干潟を守るべき

ふるくぼ 和子 委員
実施できない理由は何もないし少数級級効果を伺う。
○子どもとの丁寧な関わり

問 市民の安全・安心に努めたい。選挙事務のミス再発防止策
○市・県議選の選挙期日再統一
菊地 崇良 委員
○バス路線の現実的な見直し
○敬老乗車証とバス利用促進
○薬師堂駅への待合所設置
○東西線駅へのデータバンク配置
○本市の観光・地域資源の発掘
○地域商店街活性化の諸施策

斎藤 範夫 委員
○市民の安全・安心に努めたい。
○選挙事務のミス再発防止策
○市・県議選の選挙期日再統一

橋本 啓一 委員
○診察報酬改定と経営への影響
○救命救急センター応急率向上
○精神科医確保への取り組み
○認知症疾患医療センター再開
○被災医療機関への医療派遣
○本市の活性化につながるが市立病院跡地の早期利活用

田村 稔 委員
○避難勧告等発令の判断基準
○豪雨災害時の避難所開設
○市長公約実現に向けた所見
○政策形成過程への市民参加
○住民自治の原則を踏まえ
○税収・経済効果を視野に入れた東西線沿線まちづくり
○使用料改定と修繕予算確保
○適切な道路等の維持管理

問 子どもの個性を伸ばすための道徳教育について伺う。
答 児童生徒の多様な価値観を引き出すよう、深く考え議論する授業を一層重視し、道徳教育の充実を図りたい。

○道徳の教科化と児童生徒に対する評価の在り方
問 児童生徒の多様な価値観を引き出すよう、深く考え議論する授業を一層重視し、道徳教育の充実を図りたい。

問 子どもの個性を伸ばすための道徳教育について伺う。
答 児童生徒の多様な価値観を引き出すよう、深く考え議論する授業を一層重視し、道徳教育の充実を図りたい。

○道徳の教科化と児童生徒に対する評価の在り方
問 児童生徒の多様な価値観を引き出すよう、深く考え議論する授業を一層重視し、道徳教育の充実を図りたい。

庄司 俊充 委員
問 投票所の投票時間繰り上げは現状を踏まえ見直しを。
答 道路事情の変化や地域の方の意向等を勘案し、必要性について随時見直しを図る。

○期日前投票所の利用状況
○高校生への選挙出前投票の取り組み強化について

野田 謙 委員
問 国内姉妹都市との歴史的つながり等を市民に周知するとともに積極的な交流を図るべき。
答 周知を図るとともに、まずは行政間交流を深め、市民間交流の充実につなげたい。

○白老町への修学旅行の実施を
○宮沢根白石線の整備状況

西澤 啓文 委員
問 宮城野原貨物ヤード移転の進捗状況について伺う。
答 移転候補地である岩切地区での説明会の意見も踏まえ、周辺の道路対策等について関係者間で検討を進めている。

○岩切地区の地域活性化にもつなげる物流拠点の整備を
鈴木 勇治 委員
問 坪沼の都市農村交流活性化事業への市長の所見を伺う。
答 地元と行政が一体となって取り組んでいきたい。

○廃棄物処理等に関する要綱と法規制、適切な行政指導
○企業の休廃業増加を踏まえた事業継続の相談支援の強化

市民フォーラム仙台

岡本 あき子 委員
問 東北の活性化のために文化観光局では本市への流入人口を東北内へ還流させる施策を本気で実施し、信頼を得るべき。
答 東京からの人口還流促進と併せ取り組みを工夫したい。

○いじめの早期発見のために
○本市にU・J・Rを実現した若者の定住・定着促進施策を
○食料アレルギー対応給食の全校提供開始を歓迎する

木村 勝好 委員
問 荒井のせんだい3・11の丸跡の説明版

佐藤 正昭 委員
○議会で議論された事項については早期に検討し実現すべき
○職員は積極的に民間と交流を誘客に向けたインバクトある東北連携策と本市の役割
○「仙台のタペ」を仙台で開催し、東北と東京圏の方々のマッチングを図るべき

赤間 次彦 委員
○都市公園の桜のテングス病への対応と維持管理
○本市の緑被率と木陰率
○都市計画道路の整備状況
○渋滞解消に向けた取り組み
○踏切の解消と立体交差化
○スマートフォンを活用した道路の異常箇所通報制度

維新の党

伊藤 ゆうた 委員
問 手話は言語であるとして障害者基本法に明記されている。この前提に立ち、手話を学ぶ環境の整備や情報保障など、意思疎通支援強化のための施策の拡充が必要か伺う。
答 手話が多くの方に理解され、子どもたちも認識する機会が増えることは認識している。現在は個別の取り組み、この段階で進んで取り組み、このまに手話が広がるよう努める。

櫻橋 邦彦 委員
問 復興へのこれまでの取り組みとこれからについて伺う。
答 議会と職員の力で復興にまい進した5年間であった。今は個々の世帯に焦点を当てて重点的に取り組み、今なお仮設住宅に住む方々の住宅生活の再建をやり遂げていく。
○新設の東北連携推進室を中心に東北と手を携え、交流人口を拡大し東北全体の発展を

社会民主党

ひぐちのり子 委員
ワーク・ライフ・バランス実現への取り組みを伺う。
問 企業側の理解が不可欠。関係機関と連携し、働きかけの促進を図るべき。
答 関係機関と連携し、働きかけの促進を図るべき。

○性的少数者への理解の促進
○インフルエンザ予防の啓発と、学校教室内の湿度管理
相沢 和紀 委員
○青葉山公園は「杜の都」にふさわしい景観を整備すべき
○学術的に貴重な竜の口溪谷は安全を確保し利用再開を
○宮城野原運動場フォーミングアップソーンの早期修繕を
○陸奥国分寺史跡調査と活用

井上 直子 委員
○323億円の震災復興基金のうち、住宅再建支援など被災者への直接支援に使われた額は58億。被災者支援に基金をもっと活用すべき。徴収強化より市民の暮らしを支える施策の優先を
庄司 俊充 委員
○バス路線再編に不満や要望が多数寄せられている。公共交通はまちづくりの土台。早急に路線を見直すべきだ。市が責任を持つてコミニティバスを運行すべき

自由民主党

高見のり子 委員
○沿岸部は放火事件が相次いでいるため夜間の防犯対策を
○集団移転跡地利用は、被災者や元地権者の意見を聞き
○事業決定等に反映すべき
○県の大堤防建設と市の区画整理事業で消滅の危機にひんする浦生干潟を守るべき

ふるくぼ 和子 委員
実施できない理由は何もないし少数級級効果を伺う。
○子どもとの丁寧な関わり

問 市民の安全・安心に努めたい。選挙事務のミス再発防止策
○市・県議選の選挙期日再統一

橋本 啓一 委員
○診察報酬改定と経営への影響
○救命救急センター応急率向上
○精神科医確保への取り組み
○認知症疾患医療センター再開
○被災医療機関への医療派遣
○本市の活性化につながるが市立病院跡地の早期利活用

田村 稔 委員
○避難勧告等発令の判断基準
○豪雨災害時の避難所開設
○市長公約実現に向けた所見
○政策形成過程への市民参加
○住民自治の原則を踏まえ
○税収・経済効果を視野に入れた東西線沿線まちづくり
○使用料改定と修繕予算確保
○適切な道路等の維持管理

問 子どもの個性を伸ばすための道徳教育について伺う。
答 児童生徒の多様な価値観を引き出すよう、深く考え議論する授業を一層重視し、道徳教育の充実を図りたい。

○道徳の教科化と児童生徒に対する評価の在り方
問 児童生徒の多様な価値観を引き出すよう、深く考え議論する授業を一層重視し、道徳教育の充実を図りたい。

税目	当初予算額	構成比(%)	対前年度比(%)
市民税	90,831	48.6	101.8
固定資産税	66,983	35.8	106.0
軽自動車税	1,423	0.8	117.1
市たばこ税	8,509	4.5	99.0
鉱産税	1	0.0	100.0
特別土地保有税	2	0.0	200.0
入湯	199	0.1	102.9
事業所税	5,171	2.8	101.0
都市計画税	13,742	7.4	106.0
合計	186,861	100.0	103.5

市は有施設の利用は洋式化と併せやすすり設置や水洗トイレの仕様統一を図り高齢者や視覚障害者に配慮し整備すべき
問 利用者に配慮した手すりの整備に今後も努めたい。水洗トイレの仕様は改修・新設時にできる限り統一を図りたい。
○老朽化した街区公園の改修
平井 みどり 委員
市の水・ガス施設は、周辺地域のにぎわい創出を含めた活発な利用を促す取り組みが必要ではないか。
答 施設特性に応じた工夫を講じ、来館者増加を図る。
○使用料改定による増収の一

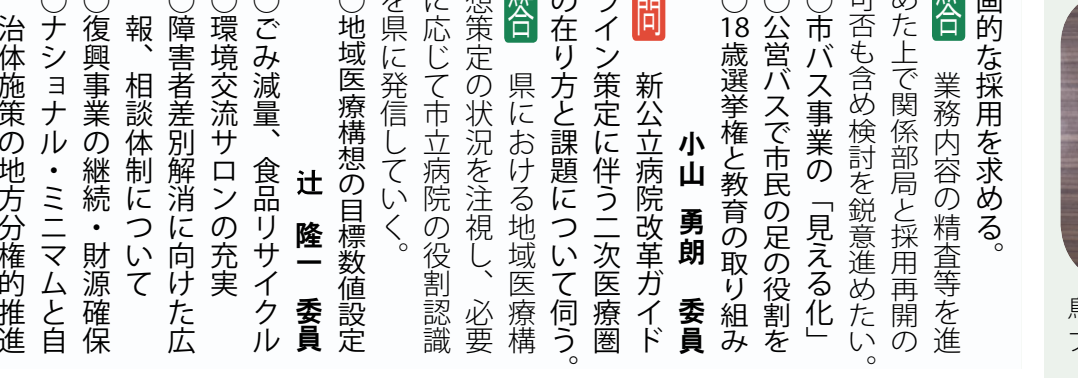
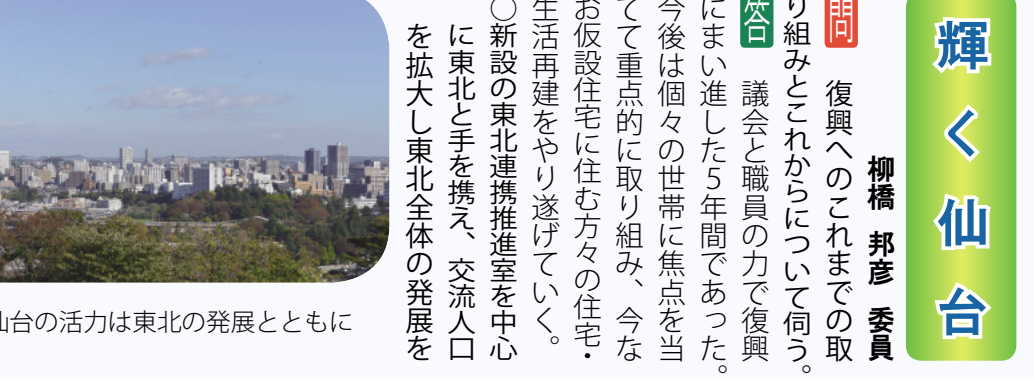
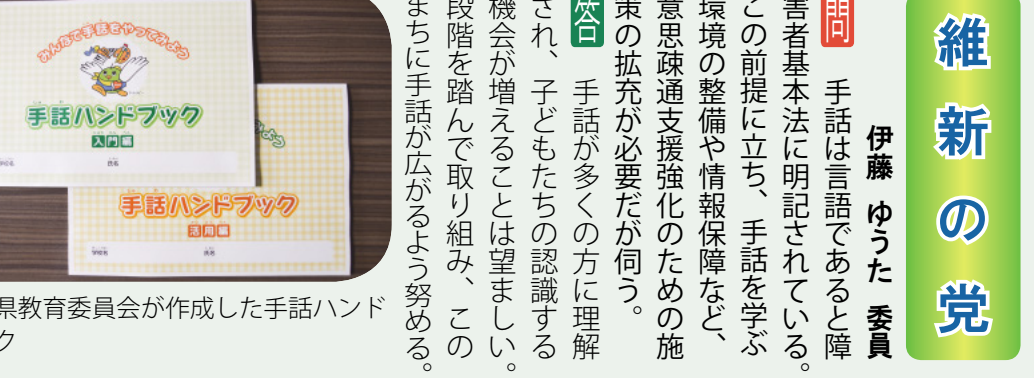
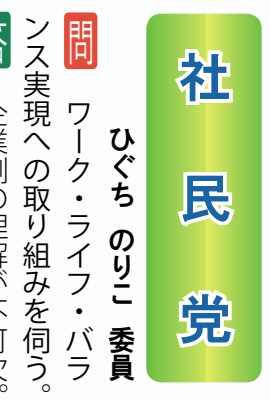
項目	金額
市税	186,861
収入金	51,155
雑収入	36,023
地方交付税	24,328
国庫支出金	75,775
その他	47,235
公債費	60,268
教育費	45,003
消防費	14,759
土木費	77,488
経済費	31,552
環境費	21,215
健康福祉費	189,514
総額	506,676

議院と職員の力で復興にまい進した5年間であった。今は個々の世帯に焦点を当てて重点的に取り組み、今なお仮設住宅に住む方々の住宅生活の再建をやり遂げていく。新設の東北連携推進室を中心に東北と手を携え、交流人口を拡大し東北全体の発展を

会計区分	当初予算額	対前年度比(%)
一般会計	506,676	94.0
特別会計	1,090,968	94.6
企業会計	1,090,968	94.6

一般会計区分

区分	金額	対前年度比(%)
都市改造事業	10,583	153.7
国民健康保険事業	114,273	97.0
中央卸売市場事業	3,006	89.9
公共用地先行取得事業	1,131	63.4
駐車場事業	237	101.5
公債管理	121,437	94.3
母子父子寡婦福祉金貸付事業	192	105.6
新築事業	794	106.3
介護保険事業	68,448	100.6
後期高齢者医療事業	11,299	103.8
小計	331,400	97.8
下水道事業	83,683	93.8
自動車運送事業	13,661	99.5
高速鉄道事業	41,661	87.8
水道事業	45,511	104.1
ガス事業	45,830	76.7
病院事業	22,546	104.6
小計	252,892	91.8
総計	1,090,968	94.6



会派別所属議員

平成 28 年 3 月 28 日現在

自由民主党	市民フォーラム仙台	公明党仙台市議団	社民党仙台市議団	日本共産党仙台市議団
赤間 藤 啓 次 斎藤 本 啓 次 橋本 啓 次 斎藤 本 啓 次 橋本 啓 次	佐藤 本 啓 次 岡本 啓 次 佐藤 本 啓 次 岡本 啓 次 佐藤 本 啓 次	佐藤 本 啓 次 岡本 啓 次 佐藤 本 啓 次 岡本 啓 次 佐藤 本 啓 次	佐藤 本 啓 次 岡本 啓 次 佐藤 本 啓 次 岡本 啓 次 佐藤 本 啓 次	佐藤 本 啓 次 岡本 啓 次 佐藤 本 啓 次 岡本 啓 次 佐藤 本 啓 次

※「維新の党」は 3 月 28 日付で会派名称を「民進党」に変更しました。

会派別議案等賛否一覧表

議案等 []内は議案番号	会派名 ()内は所属議員数							採決結果
	自由民主党 (22)	市民フォーラム仙台 (10)	公明党仙台市議団 (9)	日本共産党仙台市議団 (7)	社民党仙台市議団 (5)	維新の党 (1)	輝く仙台 (1)	
平成 27 年度補正予算案 一般会計(第 5 号)[1] 特別会計 ・都市改造事業(第 2 号)[2]・国民健康保険事業(第 1 号)[3] 一般会計(第 6 号)[94] 特別会計 ・中央卸売市場事業(第 1 号)[4]・公債管理(第 1 号)[5] ・新墓園事業(第 1 号)[6]・介護保険事業(第 1 号)[7] ・後期高齢者医療事業(第 1 号)[8] 企業会計 ・下水道事業(第 2 号)[9]・高速鉄道事業(第 1 号)[10] ・水道事業(第 1 号)[11]・ガス事業(第 1 号)[12] ・病院事業(第 1 号)[13]	○	○	○	×	○	○	○	可決
平成 28 年度予算案 一般会計[14] 特別会計 ・都市改造事業[15]・国民健康保険事業[16]・介護保険事業[23] ・後期高齢者医療事業[24] 企業会計 ・自動車運送事業[26]・高速鉄道事業[27]・ガス事業[29] 特別会計 ・中央卸売市場事業[17]・公共用地先行取得事業[18] ・駐車場事業[19]・公債管理[20] ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業[21]・新墓園事業[22] 企業会計 ・下水道事業[25]・水道事業[28]・病院事業[30]	○	○	○	×	○	○	○	可決
条例制定案 行政不服審査条例[32]、職員の退職管理に関する条例[33]、障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例[34]、愛玩動物納骨堂条例[35]、中小企業活性化センター条例[36] 各種使用料及び手数料の改定等に関する条例[37]	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正案 災害派遣手当等の支給に関する条例等[38]、情報公開条例[39]、個人情報保護条例[40]、区の設置等に関する条例[42]、人事行政の運営等の状況の公表に関する条例[44]、職員の育児休業等に関する条例[45]、職員等の旅費に関する条例[46]、市長等の給与に関する条例等[47]、職員の給与に関する条例等[48]、職員退職手当条例[49]、市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償に関する条例[50]、市税条例[51]、消費生活センター条例[53]、老人憩の家条例[55]、児童福祉施設条例[56]、放課後児童健全育成事業及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例[58]、手数料条例[59]、幼稚園型、保育所型及び地方裁量型の認定こども園の認定の要件を定める条例[60]、市営住宅条例[61]、建築審査会条例[62]、特別用途地区建築条例[63]、地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例[64]、仙塩広域都市計画事業仙台駅東第二土地区画整理事業施行規程[65]、農業集落排水事業条例[66]、都市公園条例[67]、消防団員等公務災害補償条例[68]、介護保険条例[92]、手数料条例[93]	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他議案 環境基本計画に関する件[31] 工事請負契約の締結に関する件[71~73]、工事委託契約の締結に関する件の一部変更に関する件[74]、指定管理者の指定に関する件[75~82]、包括外部監査契約の締結に関する件[83]、町の区域を新たに画する件[84]、市道路線の認定及び廃止に関する件[85] 副市長の選任に関する件[86] 固定資産評価審査委員会の委員の選任に関する件[87] 土地利用審査会の委員の任命に関する件[88] 宮城県公安委員会の委員の推薦に関する件[89] 人事委員会の委員の選任に関する件[95] 人権擁護委員候補者の推薦に関する件[90]	○	○	○	○	○	○	○	同意
請願 第 1 号請願 TPP 協定を国会で批准しないことを求める件 第 2 号請願 市民利用施設の使用料見直しに関する件 第 3 号請願 市民の利用施設の使用料の改定(案)に関する件	×	×	×	○	○	×	×	不採択
議員提出議案等 議第 1 号 学都仙台奨学金条例 議第 2 号 特別職の職員の給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例 議第 3 号 公務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例 議第 4 号 市議会委員会条例の一部を改正する条例 意見書第 1 号 「女性の健康の包括的支援に関する法律(仮称)」の成立を求める件 意見書第 2 号 「青少年健全育成基本法」の制定を求める件 決議第 1 号 北朝鮮の核実験及びミサイル発射に対する抗議に関する件 決議第 2 号 G 7 仙台財務大臣・中央銀行総裁会議の開催に関する件 議員派遣の件	×	×	×	○	○	×	×	否決
	○	○	○	○	○	○	○	可決
	○	○	○	○	○	○	○	可決
	○	○	○	○	○	○	○	可決
	○	○	○	○	○	○	○	可決
	○	○	○	○	○	○	○	可決
	○	○	○	○	○	○	○	可決

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対 □：議案等の採決の際に一部議員反対

傍聴のご案内

市議会では、本会議や常任委員会等の会議を一般公開しています。傍聴をご希望の方は、会議当日に議会の受付でお申し込みください。

- 席数：本会議は、102 席（うち車いす対応 2 席）
各委員会は、10～20 席

- 受付：通常、会議開始予定時刻の 30 分前から開始
- 手続き：受付で住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取る

手話通訳

聴覚に障害のある方が本会議を傍聴する際に、手話通訳をご利用いただくことができます。傍聴予定日の 3 日前（土・日・祝日を除く）の正午までに申込書に必要事項を記載し、事務局にお申し込みください。

申込書は、仙台市議会ホームページ (http://www.gikai.city.sendai.jp/boutyou/index_boutyou.html) からダウンロードできます。また、仙台市議会議事堂 1 階受付、仙台市聴覚障害者協会事務所、宮城県聴覚障害者協会事務所の窓口にもございます。

※手話通訳者の手配の可否を後日ご連絡いたしますので、必ず連絡先や連絡方法をご記入くださいますようお願いいたします。

<お申し込み・お問い合わせ>

仙台市議会事務局庶務課
〒 980-8671 仙台市青葉区国分町 3 丁目 7 番 1 号
電話：022-214-6164 FAX：022-265-9626
Eメールアドレス：gik024510@city.sendai.jp

編集後記

子ども議会（議会体験プログラム）に参加した学校から、喜びの感想が寄せられています。18 歳選挙権が始まるうとする中、より多くの児童・生徒に体験していただくことを期待しております。第 1 回定例会では平成 28 年度予算が可決され、これにより各種事業が展開されていくこととなります。

議会の模様をお知らせするのが、この「仙台市議会だより」です。また、市議会ホームページでも、インターネット録画中継や会議録で審議の内容を確認することができます。インターネット中継（ライブ・録画）は、間もなくスマートフォンでもご覧いただくことができるようになります。

市民の皆さまに身近で開かれた議会を目指して、広報委員会一同、努力してまいります。

平成 28 年第 2 回定例会は、6 月 10 日（金）に開会の予定です。